

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 1 区分
【発行日】令和 3 年 7 月 29 日 (2021.7.29)

【公開番号】特開 2021-9833 (P2021-9833A)
【公開日】令和 3 年 1 月 28 日 (2021.1.28)
【年通号数】公開・登録公報 2021-004
【出願番号】特願 2019-124385 (P2019-124385)
【国際特許分類】

H 0 1 M 8/04 (2016.01)

【F I】

H 0 1 M 8/04 Z

H 0 1 M 8/04 H

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 6 月 21 日 (2021.6.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 6】

曲部 7 2 は、円弧状に形成された部位を含んでいる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 7 2】

上記の燃料電池システムにおいて、前記曲部は、円弧状に形成された部位を含んでもよい。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 7 4】

上記の燃料電池システムにおいて、前記バスバーは、前記第 2 電装補機側に設けられて第 1 挿通孔 (7 6) が形成された第 1 バスバー (6 4、9 0、9 4) と、前記第 1 電装補機側に設けられて第 2 挿通孔 (8 0) が形成された第 2 バスバー (6 6) と、を含み、前記第 1 バスバー及び前記第 2 バスバーは、前記第 1 挿通孔及び前記第 2 挿通孔に挿通されたボルト (8 4) によって互いに接合され、前記第 1 挿通孔及び前記第 2 挿通孔の少なくともいずれかは、前記並び方向に延びた長孔であり、前記ボルトは、前記長孔を前記並び方向に沿って移動可能であってもよい。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 4】

請求項 3 記載の燃料電池システムであって、
前記曲部は、円弧状に形成された部位を含んでいる、燃料電池システム。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 6】

請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 項に記載の燃料電池システムであって、
前記バスバーは、
前記第 2 電装補機側に設けられて第 1 挿通孔が形成された第 1 バスバーと、
前記第 1 電装補機側に設けられて第 2 挿通孔が形成された第 2 バスバーと、を含み、
前記第 1 バスバー及び前記第 2 バスバーは、前記第 1 挿通孔及び前記第 2 挿通孔に挿通されたボルトによって互いに接合され、
前記第 1 挿通孔及び前記第 2 挿通孔の少なくともいずれかは、前記並び方向に延びた長孔であり、
前記ボルトは、前記長孔を前記並び方向に沿って移動可能である、燃料電池システム。